

（記載例）

事前課題3 「5. 社会資源との繋がりについて」の書き方について

支援の中心には利用者が位置しており、利用者自身が望む生活を実現するためには、これまでの設問のとおり、関係機関との連携が重要です。「4. (自立支援)協議会への参加について」のような役割を担っている自立支援協議会があなたの事業所の利用者とどのように関わっているか（関わってほしいのか）を考察してください。

① 自事業所 ケース等、ご支援者の希望ではなく、利用者自身の希望を書いてください。

「あなたの事業所の利用者Aさんは、

（例）もうすぐ18歳であり、将来は一人暮らしをしたい

②③は内容がリンクするように書いてください。（②の状況を図式化したものが③となるイメージです。）

（例） ・～と～が不足していると感じた。～できる資源があるとよいと考えた。
 ・自事業所は、地域の中で～という役割があると考える。今後、児発管として自事業所で～していきたい。

③ ②で整理した内容及び①の利用者を取り巻く**現在の**社会資源をエコマップで整理してください。また、不足していると感じる社会資源を「自立支援協議会で協議してほしいこと」の右欄に記入してください。【回答必須】

★エコマップとは、クライアント（利用者）を取り巻く人間関係や社会環境における資源のネットワークを可視化したものです。

★○の中に関係者名を記入し、中心に位置する利用者と関係機関を線で繋ぎましょう。

★本研修で提示しているエコマップは一例です。ご自身が書き慣れている方法で記入していただいて構いません。枠が足りない場合は行を増やしてください。

自立支援協議会で協議してほしいこと （現在、①の利用者とつながっていない社会資源）	（例） ・グループホーム ・自立訓練 ・就労移行支援 ・就労継続支援A型 ・障害者就業・生活支援センター ・障害者雇用をしている企業
（例） <pre> graph TD User((利用者)) --- A1(A市の子ども家庭課) User --- A2(A市の障害福祉課) User --- A3(病院) User --- A4(就労継続支援B型) User --- A5(相談支援専門員) User --- A6(自事業所：放課後等デイサービス) </pre>	